



2024-2025 年度

国際ロータリー会長 / ステファニー・アーチック 会長 / 來間 久 副会長 / 土江 光二
 2690地区ガバナー / 榊原 敬 幹事 / 原 伸雄 会計 / 小汀 泰之

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
 TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365
 URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp
 9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

	卓話者	演題
5月8日	島根県立平田高等学校 校長 野津 孝明 様	経験したことしか
5月15日	休 会	
5月22日	地区クラブ活性化ワークショップ 出席者	地区クラブ活性化 ワークショップ報告
5月29日	西代町 出雲トレーニングセンター	職場訪問例会
6月5日	会員増強会員維持委員会	夜間例会 18:30~ 親睦趣味の会 (囲碁・お茶・ゴルフ・麻雀)

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
38	29	9	76.32

■欠席者

福田智・飯塚大・石原・大國・木村・園山・大谷良・牧野・杉原

■来訪者

5/1 井上・園山・小川・福田(出雲南)

■メイクアップ

5/7 土江(大社)

■次回会受付当番

(5月22日) 大國行雄 / 小汀泰之 / 大島淳司
 (5月29日) 安食洋平 / 大島卓爾 / 大谷厚郎

■近隣クラブ例会情報(メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	6/23	6/9・30(-)	松江南	6/23・30
火	出雲	6/17	6/24(-)	松江しんじ湖	6/17・24
水	大社			松江	6/18 6/25(-)
木		(-);	ピジター受付なし	松江東	6/19 5/8・6/26(-)
金	出雲南	5/23 6/20			
		5/9・30・6/30(-)			

■会長挨拶

皆さま、ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたでしょうか。私は、仕事柄お休みなく営業しておりましたが、その間に何度か孫の子守りを頼まれ、店の近くを一緒に散歩しました。そのとき、ふと思ったことがあります。それは「目線」と「視野」についてです。子どもの目線は大人よりもずっと低く、私もしゃがんで子どもの視点で周囲を見てみると、普段見慣れているはずの景色がまったく違って見えました。少々大げさかもしれませんが、まるで新しい世界が広がっているように感じたのです。目線を変えることで、視野も変わる。これは当たり前のことかもしれませんが、とても大切な気づきだと思います。

さて、5月は「青少年奉仕月間」です。

先日、IMでお世話になった講師の方が、かつてロータリー青少年交換プログラムに参加されたというお話をされていました。私はその仕組みをよく知らなかったため、改めて調べてみました。

ロータリー青少年交換とは、15歳から18歳までの高校生を対象に、海外に

派遣・受け入れを行うプログラムです。ホームステイを通じて異文化に触れ、異なる生活様式を体験することで、国際理解を深め、平和の基盤となる人格形成の機会を提供することを目的としています。現在、世界約100か国で年間およそ7,500人の学生が参加しています。

プログラムのスタイルには以下の2種類があります。

【長期交換(約1年)】複数のホストファミリーのもとで生活しながら、現地の学校に通います。

【短期交換(数週間~数か月)】主に夏休みなどの長期休暇を利用し、通学の義務は国によって異なります。

通常、ロータリアンはロータリーの奉仕プログラムの受益者にはなれませんが、この青少年交換に限り、ロータリアンの子弟の参加が認められています。

参加された方々の声としては、「トラブルへの対処力や自立心が育まれた」「日本の良さを再認識できた」「語学力が向上した」「世界中に友人ができた」など、多くの前向きな体験が語られています。本日は、青少年奉仕月間にちなみ、「ロータリー青少年交換」についてご紹介させていただきました。

■幹事報告

- ロータリーレートの変更 5/1より1ドル142円(現行150円)
- 隠岐西郷ロータリークラブ会長 忌部正孝様60周年実行委員長 高井初子様より式典出席のお礼状をいただきました。
- 地区ガバナー榊原 敬様より
 国際ロータリー規定審議会(4/13~17シカゴ)が開催され、当地区より地区代表議員として松本バスターガバナーが出席され、報告会開催のご案内5/14(水)午後4:00より(オンライン)
 会長・会長エレクト・幹事・次期幹事出席致します。

■委員会報告

出席親睦委員会 : 5月の会員誕生・伴侶誕生・結婚記念祝い

情報・雑誌委員会 : ロータリーの友 5月号の紹介



■スマイル

來間・原伸(本日は野津校長先生ようこそいらっしゃいました。スピーチ楽しみにしております。)

大谷厚(光栄にも春の園遊会にお招きいただき、行って参りました。平田高校の野津校長先生のスピーチを歓迎して。)

小汀(野津先生ようこそお出掛け下さいました。スピーチ楽しみです。今日は宜しくお願い致します。)

太田(平田高校 野津校長先生、当ロータリークラブでの卓話にお出掛けいただきありがとうございます。)

田中(平田高校 野津校長先生、平田ロータリークラブの例会におこしいただいてありがとうございます。ご講演を楽しみにしています。)

清原(野津校長先生、ようこそ起こし頂きました。よろしくお祈りします。)

松浦 (野津校長先生、本日はよろしくお願ひします。)

神田 (野津先生、本日はようこそ平田 RC へ起こし下さいました。
卓話楽しみにしております！)

神田 (來間会長へ 昨日は倫理法人会例会にて講師をお務め下さいまして
ありがとうございます。大盛況だったと聞いております。妻になり替
わりお礼申し上げます。)

遠藤 (本日は野津校長先生、ご講演を宜しくお願ひします。)

堀江 (野津校長先生、ようこそいらっしゃいました。)

例会プログラム

経験したことしか

鳥根県立平田高等学校
校長 野津 孝明 様



私たちは、この施設が社会のルールを学ぶ場であることを意識し、
率先して規律ある行動を心がけます。



私たちは、「失敗から学ぶ」ことの大切さを、
全ての業務において常に意識し、それが研修者の成長につながるよう努めます。

施設をめざす姿

- 利用者や地域から、いつまでも愛され、必要とされる施設
- 地域のパートナーとして信頼される施設

例会場へ入って一番に目に入ったものは「四つのテスト」でした。
4番目の「みんなのためになるかどうか」
私がこの春、生徒に話したことです。
との第一声に続き多くのご経験談をお話いただきました。

三瓶青少年交流の家のミッション

私たちの使命

みんなの笑顔のために、
「勇気ある一歩」を踏み出す青少年を育てる。

変化が激しく、普遍的・絶対的な正解がない現代社会においては、自ら解決策を模索し(知恵)、行動できる(勇気)人間が求められています。私たちは、体験活動を通して『人と人のつながりの中で、自他が尊重される幸福な社会を実現しようとする(愛情)意欲と実践力をもった青少年』を一人でも多く育てたいと願っています。

大切にしたいこと



本来のサポートのつづりは「SUPPORT」ですが、交流の家のサポートはSAFETYの「SA」を表した「SUPPORT」になっています。また、「SUPPORT」の「A」は、この地域のシンボルである三瓶山を表現しており、三瓶地域が1つになって活動していきたいという思いを込めています。



利用者の笑顔をひきだすのは、私たち職員自身の笑顔であると考え、
元気で笑顔あふれる対応を心がけます。



私たちは、常に利用者の安全を第一に考え、
安心して研修に向きあえるよう行動します。



私たちは、次代を担う青少年の成長に関わっていることに
誇りをもって働きます。



私たちは、「できない」と言う前に、
まずは「どうすればできるか」を前向きに考えます。